

和歌山県の地震

令和7年8月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 3

2. 地震一口メモ

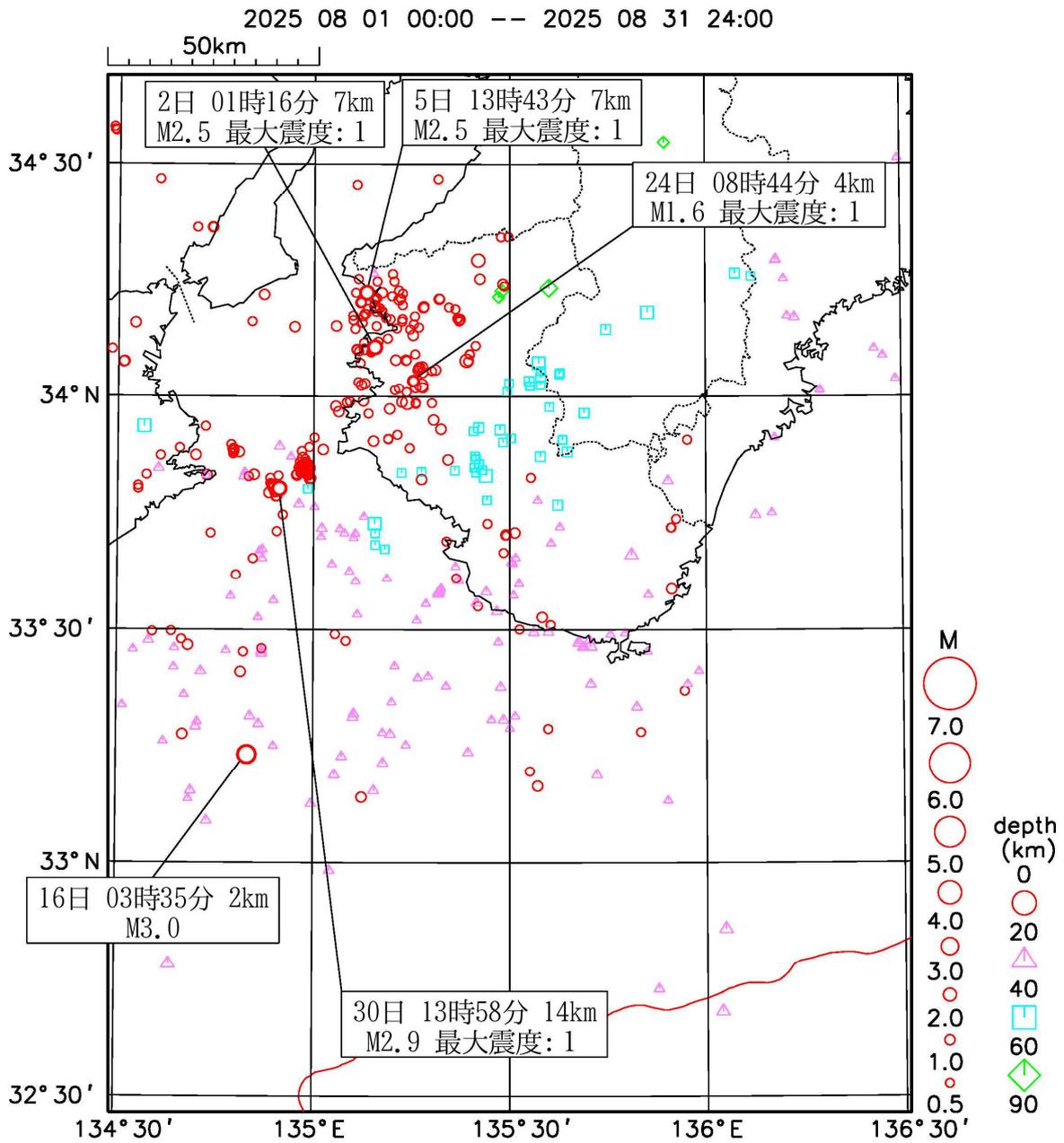
『南海トラフ地震臨時情報防災対応ガイドライン』の改訂	・・・・・・・・ 5
----------------------------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】

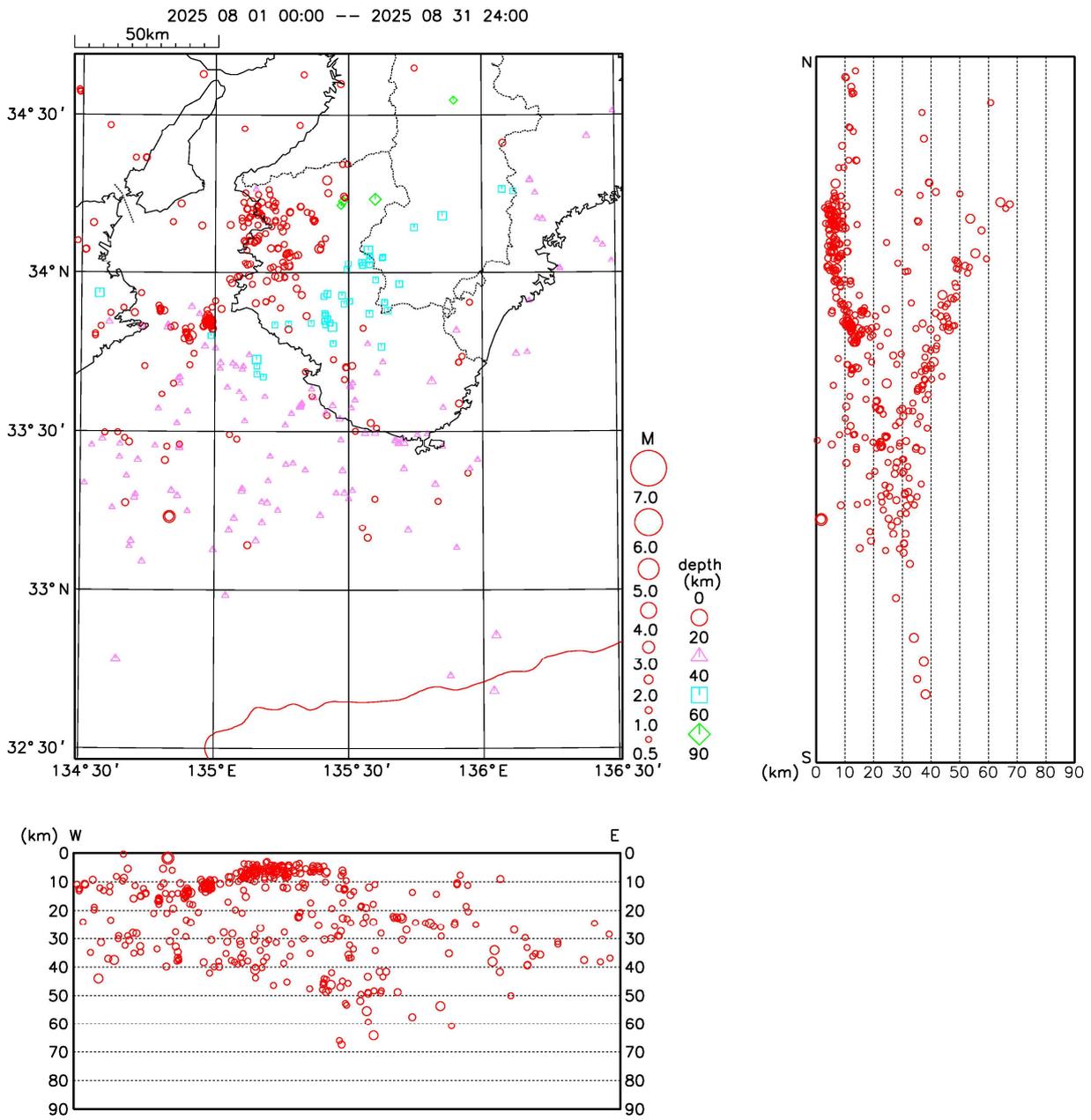


【概況】

8月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は20回（前月は25回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、16日03時35分 四国沖の地震（M3.0、深さ2km）でした。

8月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、4回（前月10回）でした。

【 断面図 】



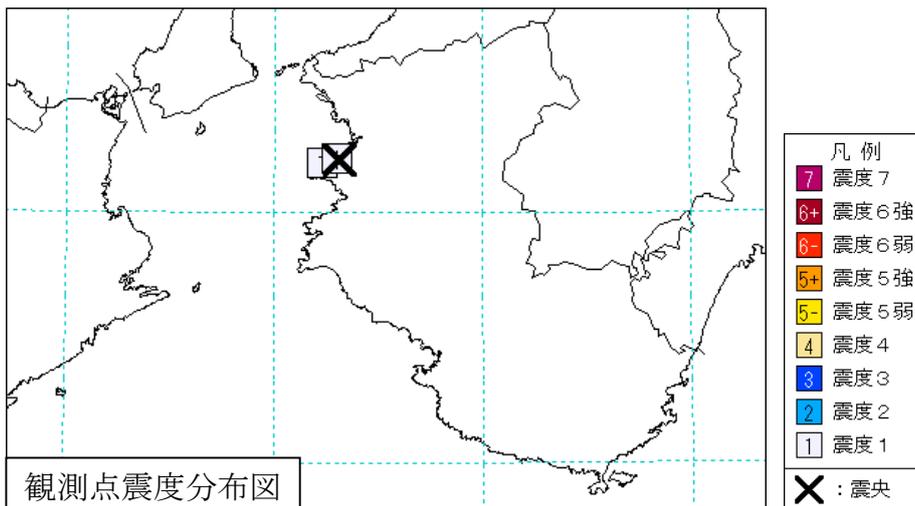
【 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2025年08月02日01時16分	和歌山県北部	34° 06.3' N	135° 09.3' E	7km	M2.5
和歌山県 震度 1：海南市下津*，有田市初島町*					
2025年08月05日13時43分	紀伊水道	34° 13.4' N	135° 08.0' E	7km	M2.5
和歌山県 震度 1：和歌山市男野芝丁，和歌山市一番丁*					
2025年08月24日08時44分	和歌山県北部	34° 02.0' N	135° 15.2' E	4km	M1.6
和歌山県 震度 1：湯浅町青木*					
2025年08月30日13時58分	紀伊水道	33° 48.1' N	134° 54.7' E	14km	M2.9
和歌山県 震度 1：湯浅町青木*					

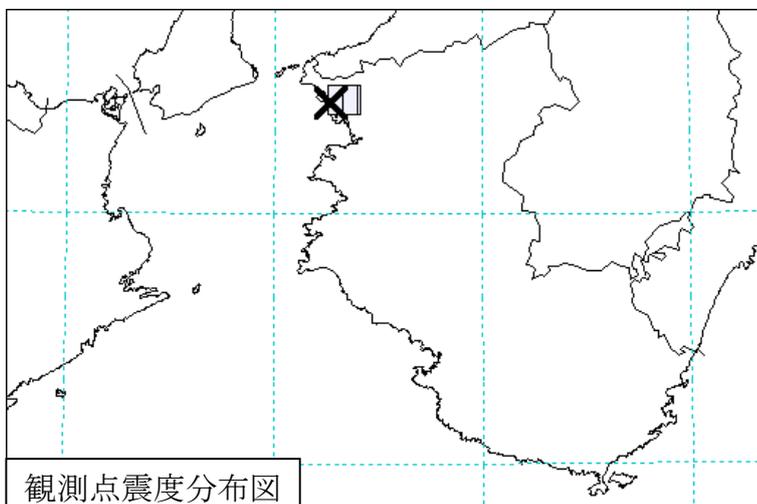
地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【 震度分布図 】

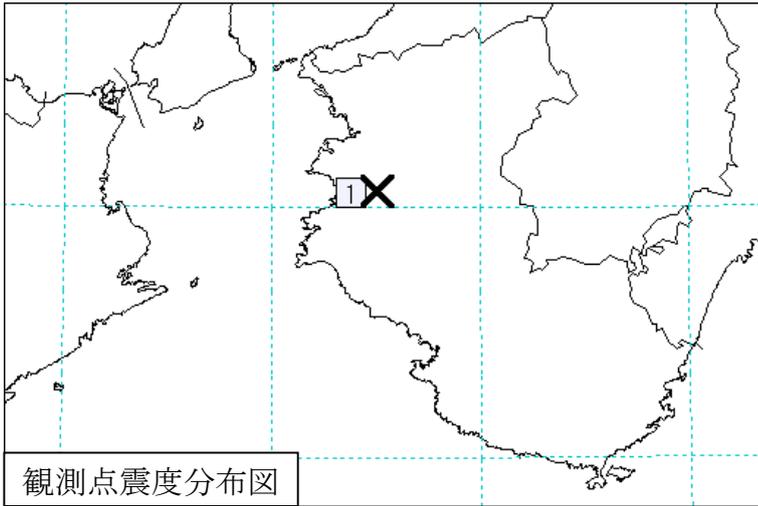
2025年08月02日01時16分 和歌山県北部の地震（深さ7km、M2.5）



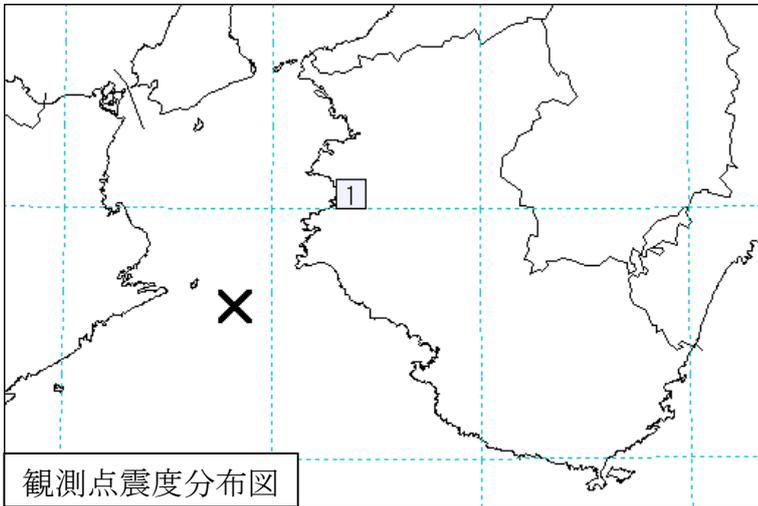
2025年08月05日13時43分 紀伊水道の地震（深さ7km、M2.5）



2025年08月24日08時44分 和歌山県北部の地震（深さ4km、M1.6）



2025年08月30日13時58分 紀伊水道の地震（深さ14km、M2.9）



2. 地震一口メモ

『南海トラフ地震臨時情報防災対応ガイドライン』の改訂

内閣府は、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合にとるべき防災対応を、あらかじめ検討し、計画としてとりまとめるために参考となる事項をまとめた『南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン』を作成・公表しています。

令和6年8月に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を運用開始後初めて発表し、各自治体・各機関等で様々な対応や反応が報告されました。

今般、内閣府は、これら対応等の改善方策について検証し、本ガイドラインにおける巨大地震注意に関する記載の充実等を図る改訂を行い『南海トラフ地震臨時情報防災対応ガイドライン』として公表しました。

この改訂を受けて、気象庁では、「南海トラフ地震臨時情報」の周知広報に一層努めてまいります。

《ガイドラインの主な改訂点》

- ① 各主体が防災対応の検討をしやすくするため、章立てを再構成
- ② 臨時情報の基本的な考え方を記載
- ③ 臨時情報発表時にとるべき対応の記載を充実
- ④ 平時および臨時情報発表時の周知・広報の留意点について記載
- ⑤ 個別分野の留意事項や防災対応の例について充実
- ⑥ 海拔ゼロメートル地帯における防災対応の考え方を新規記載
- ⑦ 令和6年8月の臨時情報発表時に各地でとられた対応の事例集を巻末に組み込み
- ⑧ Q&Aの充実

《内閣府：南海トラフ地震防災対策のホームページ（今回のガイドライン改訂も含む）》

<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>

